

傘寿おめでとらびります

「傘寿・卒寿・白寿の方」『ご投稿に感謝いたします』

今が青春



早いもので、やがて私も傘寿を迎えます。小二の孫娘が「私も大きくなったら、おじいみさんに『ティーンタイショク』になりたい。」と羨ましがって毎日自由に使えたいという幸せを満喫しています。

まず、体力づくりとボケ防止(?)のため、朝夕一時間ずつ散歩を続けています。散歩の途中出会う人に声をかけたり、小鳥の囀りに耳をすませたり、ひっそりと咲く野の花の美しさに目を細めたり、里山の四季の移ろいに感じ入ったり、とても充実した時間です。でも、一番の楽しみは写真撮影です。各地の祭り、風景等で撮りたいという情報をつか

一万九千二百の朝に八十になる

あした

菊池支部 松岡 紀代子

わたしは、小・中学校時代を荒尾市府本町で過ごした。愛媛で高校教師を務められた坂村真民さんの生家が、何と、わたしの家の前と知った。その著書「念ずれば花ひらく」はよく知っていた。数年前、その府本町の公民館で小岱焼の井上泰秋さんが、真民さんの詩とコラボした器や書画の作品を展示された。そこで「一日一言(人生の詩、一念の言葉)」に出会った。「一万九千二百朝(棟方志功)」などという言葉だろうか。百年生きたって僅か三万六千五百朝だ。一朝だってムダにしてはならないんだと、腹にしみわたるような言葉だ。」という詩がある。今、わたしは八十を迎え、来たる四月の誕生日は二万九千二百の「朝」となる。玉名の蓮華院にも、真如とい

傘寿を迎えて



私は生徒たちに「戦争さなければ生きていける。お金や食べ物がないとまわりの人たちが助けてくれる。たくさん友達をつくりなさい。」これは「そうありたいという」私の生き方を確かめる為に言っていたのですが、もうあれから二十年。あつという間でした。時の早さを実感しています。

私は二十歳の時、水上勉氏直筆の「花よりも雑草になりたし」という色紙をもらい私の

元気で過ごしています



「洋子さん お早ようございませう」女性だけの健康教室です。運動が苦手な私ですが励まされながら、心地よい汗をかいています。週に二

三回。養護教諭として、二十九年、五十才で退職し五月で八十才、傘寿です。今学校現場では、新型コロナの影響で大変な毎日を送っておられると思います。見えない相手との戦いで神経をすり減らしておられる事でしょう。一日も早い終息を願っています。「マスクなしで話したい」現実になりますように。

私は子育てが終わり、金婚式も終わり、夫婦二人の生活になって、二十一年が過ぎました。それぞれの趣味に生き甲斐を感じ、元氣一杯に過ごしています。夫の新しい発見もあり

今、(傘寿に) 思うこと。



天草支部 錦戸 美奈子

初孫が生まれた年に退職しました。定年まで五年を残してだったので、「子ども達とのふれあいを、まだ続けたい。」等、正直、心残りもありましたが、その頃、九十才を過ぎた義母が入退院を繰り返して、暗い日々だったので、孫の世話があれば気が晴れるかと思いきや、退職を決断したのでした。けど、現実には厳しいものでした。自分の病院通いも加わり、多忙な日が続いているそんな時、「合唱団の指導をお願いしたい。」との熱心なお誘いをいただき、「一緒に歌いましょう。」と、うれしい気持ちで引き受けて二十四年、今もそれが

防空壕は暗くておしつこの匂い

阿蘇支部 吉田 優子

花畑公園は工事中、今はだれも入れない。いい場所だ。明るい空間、見上げれば空、孤独なホームレスも、昼休みのスリッパ姿も、わたしのようなブラブラ歩きも、だれでも腰を下ろして自分の時を楽しめる。此処では鳩とホームレスは仲が良い。一方は食べ物を探して、もう一方は仲間を求めて。鳩たちは気楽に彼の肩や腕に止まり、嘴で餌をねだる。老いた顔が笑みになり手の平にパン屑を置く。夢中で食べる鳩の姿はとても楽しい。ある時わたしも少し分けてもらい、手をさし出した。一羽も来ない。「おばさん、嫌われたな」側から彼が言う。

寝場所を持たぬ人には、公園の一隅が生活の一隅にもなる。彼らの小さな包みが植込みの中にそっと置かれている。工事の期間中は人も鳩もシャットアウトされる。何処で眠るのかは知らない。冬の夜は辛いだろう。そんな事を思いながら柵沿いの歩道を歩いていると、いきなり声がした。「今日はわたしの誕生日、七十八」、わたしは驚いて立ち止まった。見知らぬ女だったけど、おめでとくと挨拶する。彼女は続ける。「小さな時はいつも防空壕。暗くておしつこの匂いがして厭だった」 同年代のわたしは言う。「わたしは何も覚えてない。でも、弟とわたしは父を知らずに育った」 彼女は荷の包みを膝に持ったまま何も言わずに頷いた。二人の会話はそこで終わった。不思議な気がした。自分の死が近づくにつれ、しきりに思う、一度、お父さんと呼んでみたかったなあ。あの女性の防空壕も、わたしのその思いと同じ、だれかに語りたかったのだ。

さて、新しい花畑公園が前のようにだれでも気軽に入れる場になればいい、と心から思う。

2021年度 熊退教行事予定

～ 2021年～

- 4月1日 熊退教ニュース第102号発行
- 5月25日 地区会長・女性代表者会
- 6月23日 第48回 熊退教定期大会
- 6月 日 第49回 日退教(※1) 定期総会
- 8月15日 熊退連(※2) 平和集会
- 9月1日 熊退教ニュース第103号発行
- 9月 日 日退連(※3) 高齢者全国集会
- 10月 日 日退教 組織活動交流集会
五者合同学習会
- 12月 日 地区事務局長会

～ 2022年～

- 1月1日 熊退教ニュース第104号発行
- 2月20・21日 友好の会熊本地区開催
- 3月 日 日退教九プロ 総会・学習会

(※1) 日本退職教職員協議会
(※2) 熊本県退職者連合
(※3) 日本退職者連合

